武　一　中

平成３１年４月１１日
武蔵野市立第一中学校

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

学校だより３１－１号

目標をもつこと

校長　　中嶋　建一郎

このたび、若槻善隆 前校長の後任として、校長に着任いたしました中嶋 建一郎（なかじま けんいちろう）と申します。今まで一中が築き上げてきた伝統をさらに発展させていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

８日には100名の新入生を迎え、9学級、生徒数279名で平成31年度がスタートしました。入学式の式辞の中で、新入生に「目標をもつこと」の話をしました。その内容を掲載します。

目標は、「あそこまで行ってみよう」という目印のようなものです。例えば、プロのサッカー選手になりたいという人がいたとします。その人は、中学生時代に何をしたらいいのでしょう。プロになるためには高度な技術力や体力をつける必要があります。そのために部活動に入ることやクラブチームで練習することを考える人が多いと思います。

体力にしぼって考えると、１試合走り続ける持久力が必要かもしれません。いつまでにその体力を身につける必要があるでしょうか。高校生でしょうか。だとしたら、中学１年の今年はどの程度の体力をつけたらいいでしょう。それがわかれば、１学期の間にはどのくらいか。じゃあ、そのために今週は、そして今日は何をするか。

プロのサッカー選手になる目標の例で話を進めましたが、何かの目標をもつと、今、自分が行うことに意味がでてきます。何のために今、自分はこれをやっているのか、やる必要があるのか、やらなければならないのか。これが、目標の大切さだと私は考えています。

以前、中学３年生に高校進学に向けて面接練習をしたことがあります。その練習のやりとりの中でも、「自分は将来、外国で仕事がしてみたいと思っているので英語を頑張りたいです」という人や、「東京オリンピック出場を目指し、専門的な練習をしていきたいです」とはっきりとした目標をもっている人がいました。

今のみなさんは、必ずしも、将来の夢や目標がはっきりしている必要はありません。漠然と「今、これが面白いから、頑張る」でもいいと思います。ただ、そこに目標を設定してみてほしい。その目標が達成されたら、次の目標を立てる。そうやって、自分自身の成長をかみしめながら、自分自身を高めていってほしいと思っています。

自分の成長の目印にするために、目標を立てる。将来の夢に対する目標でも、中学３年間の目標でも、この１年間の目標でも、今週１週間の目標でもかまいません。その目標に向けて行動を起こしてみましょう。そうすれば、きっと自分を成長させ、充実した中学校生活を送ることができるはずです。

目標は成長の目印になる！